

女峰山・鬼怒沼山行報告

(山 域) 日光・奥鬼怒

(コ ー ス) 6月26日 霧降高原⇄女峰山 27日 女夫淵⇄鬼怒沼

(登山方法) ハイキング(車中泊)

(山 行 日) 平成28年6月26日(日)～27日(月)

(天 候) 6月26日 曇り時々晴れ 27日 晴れ

(参 加 者) 篠塚 勇(単独)

(山行タイム) 6月26日

霧降高原(キスゲ平)駐車場発 5:00⇒赤薙山 6:30⇒一里ヶ曽根 8:20⇒女峰山着 9:50

女峰山発 10:20⇒一里ヶ曽根 11:20⇒赤薙山 12:40⇒霧降高原駐車場着 14:00

6月27日

女夫淵(メトヅチ)駐車場発 5:00⇒八丁の湯 6:00⇒オロオソロシの滝展望台 7:10⇒

鬼怒沼(湿原)着 8:40 鬼怒沼発 9:40⇒オロオソロシの滝展望台 10:50⇒

八丁の湯 12:00⇒女夫淵駐車場着 13:00

(山行報告)

6月26日

0時に自宅を車で出発。首都高～東北道～日光道を通り霧降高原駐車場に3時到着。1時間程仮眠をとり5時出発。登り始めはキスゲ平(1,350m)の名のとおり、満開のニッコウキスゲの大群落の中、天空回廊と言われている1,445段の階段を一気に登った。既に写真目的の方も10人近くいて、山登りの人は少数だ。写真は下山時に撮ることにし先を急ぐ。右手に丸山を見ながら緩やかな登りが暫らく続いた後、30分程急坂を登り赤薙山頂上だ。急な岩のヤセ尾根を下降後登り返し1時間程で奥社跡。再び下降し登り返し暫らく水平歩道が続き1時間で一里ヶ曽根に到着。女峰山が見え始めたら再々び大きく下降し、最後のガレ場の急坂を登り切り、それから30分程で女峰山の山頂(2,464m)だ。曇り空ながら展望はよく中禅寺湖、男体山、真名子山もくっきり見えた。30分程休憩して下山した。



女峰山山頂から中禅寺湖・男体山方面



奥が男体山・手前が大真名子山

キスゲ花と休日と人気の女峰山ということもあり、大勢の登山者(100人近く)とスレ違った。

手前の赤薙山または丸山まで登る人もそれ以上いる。キスゲ平園地も観光客でいっぱいだ。
キスゲの花をカメラに収め 14 時に下山した。



キスゲ平園地(写真上が駐車場)



満開のニッコウキスゲ



咲き誇るニッコウキスゲ

大きな上り下りが 3 回あり累積標高差は 1,700～1,800m あり、往復 9 時間のかかなりタフなハイキングだった。

入山時、電波が圏外で連絡ができなかったため、日光市内まで降り下山と明日の入山連絡をして、同じ道を引き返し大笹牧場を経由し約 1 時間 30 分で女夫淵駐車場に着いた。食事後 19 時に車中泊した。

6 月 27 日

4 時起床。5 時出発だ(1,100m)。八丁の湯まで 1 時間。更に加仁湯、日光沢温泉、丸沼分岐(1,300m)まで 50 分。ここまでは全体に緩やかな登りで、ここからは約 2 時間の急坂だ。途中のオロオソロシの滝展望台で休憩。登り切った後緩やかな登りを 30 分程で鬼怒沼(2,020m)に到着。小さな沼が 5 つ 6 つ点在。鬼怒沼と言うより奥鬼怒湿原のほうが似合う。湿原全体にワタスゲと小さな可憐なタデヤマリンドウの花が満開だ。空は快晴空気も爽やかで最高のハイキング日和だ。日光白根山の上半分がクッキリ見え、トンボも舞っていた。



八丁の湯



オロオソロシの滝(中央の奥が滝)



奥右が鬼怒沼山



金沼から奥右が日光白根山



ワタスゲの群落



ワタスゲ



タテヤマリンドウの群落



タテヤマリンジウ

一番大きな金沼(湿原のほぼ中央)前のベンチで暫らく休憩し、下山を開始した。

途中出会った登山者は、前夜宿泊(日光沢温泉が登山宿)3名、女夫淵駐車場から5名、下山口近くで会った今日宿泊8名で昨日とは一転静かな山旅だった。13時30分下山した。

標高差900m往復8時間30分で天気にも恵まれ快適なハイキングだった。途中川俣湖温泉の上人一休の湯で二日間の汗を流し、20時帰葉した。

以上